

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●戸崎圭太騎手がJRA通算500勝を達成

2月28日(日)の2回中山2日・第8レースではエターナルヒーローが1着となり、同馬に騎乗した戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)は、現役29人目となるJRA通算500勝(3932戦目)を達成しました。

●M.デムーロ騎手がJRA通算500勝を達成

2月28日(日)の2回中山2日・第11レースとしておこなわれた中山記念(GⅡ)ではドゥラメンテが1着となり、同馬に騎乗したミルコ・デムーロ騎手(栗東・フリー)は、現役30人目となるJRA通算500勝(3171戦目)を達成しました。3171戦目での500勝達成は、現役騎手では武豊騎手(3088戦目)に次ぐ2番目のスピード記録となります。なおデムーロ騎手は、この勝利で2月14日(日)の京都記念(GⅡ)、2月20日(土)の京都牝馬S(GⅢ)、2月21日(日)のフェブラリース(GⅠ)、2月27日(土)のアーリントンC(GⅢ)に続き、JRA重賞騎乗機会5連勝を達成。これも武豊騎手の6連勝に次ぐ第2位の記録となります。

●松田博資調教師がJRA通算800勝を達成

2月27日(土)の1回阪神1日・第10レースとしておこなわれた御堂筋Sではラブラバードが1着となり、同馬を管理する松田博資調教師(栗東)は、史上32人目、現役では3人目となるJRA通算800勝(6997戦目)を達成しました。

●栗東で調教師3名が引退し3名が開業

2月29日(月)をもって、栗東の武田博調教師(JRA通算成績6665戦492勝)、橋口弘次郎調教師(JRA通算成績8645戦991勝)、松田博資調教師(JRA通算成績7001戦800勝)が引退しました。なお3月1日(火)付で、斉藤崇史調教師、橋口慎介調教師、渡辺薫彦調教師(いずれも栗東)が新規開業しています。

●エアハリファの競走馬登録抹消

2015年根岸S(GⅢ)の勝ち馬エアハリファ(牡7歳/栗東・角居勝彦厩舎)は、2月28日(日)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は19戦8勝で、今後は栃木県大田原市の那須野ヶ原ファームで乗馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●人気のアムールブリエがエンプレス杯(川崎)連覇を達成

エンプレス杯(JpnⅡ、3月2日、川崎、2100m)は、2番手を追走した昨年の優勝馬アムールブリエ(武豊騎手、牡5歳、父スマートストライク)が残り50mで抜け出し、単勝1.1倍の圧倒的支持に応えました。ヴィータアレグリアが1馬身差の2着に入り、逃げた2番人気のティンバレスは3着、3番人気のイントロダクションは4着、タマノブリュネットが5着と、JRA所属馬が上位を独占しています。

●スプリングCは地元のカツゲキキト 【各地の主要3歳重賞】

スプリングC(3月3日、名古屋、1600m)は、4番手から直線半ばで先頭に立った6番人気のカツゲキキト(牡、父スパイクユール)が8馬身差で圧勝。1番人気のハイジャは3着でした。

●3月9日のダイオライト記念(船橋)で連覇を目指すクリソライト

ダイオライト記念(JpnⅡ、船橋、2400m)は、ここ数戦より対戦相手が楽になるクリソライトの連覇が濃厚と思われ、以下ストロングサウザー、クリノスターオー、マイネルバイカまでが争覇圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●モヘイメン5戦5勝、ケンタッキー・ダービー1番人気揺るがず

今年のケンタッキー・ダービー(5月7日)の1番手候補と目されるモヘイメン(牡3歳、父タピット)が2月27日の米G2ファウンテンオブユースS(ガルフストリーム競馬場、ダート8.5f)に出走、先行して外から抜け出す強い勝ち方でG2・4連勝、通算5戦5勝です。勝利騎手J.アルバラード、調教師K.マクラクリン(本拠地ニューヨーク)、馬主シャドウエルステーブル(ドバイのハムダン殿下)。これで今季2連勝とし、実績では上位のナイクイスト(6戦6勝、うちG1・3勝)を抑え、前回(第2回)のケンタッキー・ダービー前売りで推された本命(個別の馬)の座を守りました。次走4月2日のフロリダ・ダービー(G1)で2強の直接対決が予定されています。

●カリフォルニアクロームはドバイ・ワールドCの叩き台を快勝

今年のドバイ・ワールドC(3月26日)の本命馬、アメリカのカリフォルニアクローム(牡5歳、父ラッキーブルピット)は2月25日、ドバイのメイダン競馬場で行われたハンデ戦(ダート2000m)に出走し、60kg(他馬53kg)の負担重量をものともせず外から差して快勝、順調さをアピールしました。